

カ
佛
蘭
西
汽
船
ア
ソ
シ
エ
ー
ト
号
坐
礁
件

F-0149

0497

電信課長



大臣
次官

東亞
歐洲
米洲
通商
條約
情報
文書
調查
人事
儀典
文書
會計
秘書官

寫
送
先

分類 F.1.8.0.4

昭和14 三一九〇六 略 臺北 九月十三日後發 本省 十三日後着

阿部外務大臣

千葉臺灣外務部長

第一三四號

十一日午前七時佛蘭西汽船「アツニー」號新南群嶋ニ寄港シ安南人十七名ヲ上陸セシメタルモ同船ハ坐礁シ自力離礁困難ナル趣同嶋警
察官ヨリ電報アリタリ爲念
(了)

外
務
省

記録 外國船舶運送



F-0149

0498

秘

第三課長

昭和十四年九月二十三日

臺灣總督官房外務部長 千葉 泰



歐亞局長 井上 庚二郎 殿

外發第二〇二十八號

新南群島ニ於テ坐礁セル佛國汽船及佛國軍艦ト覺シキ外國軍艦ノ同島附近投錨ニ關スル件

新南群島長島附近ニ於テ坐礁セル佛國汽船ノ動靜ニ關シテハ曩ニ拙電ヲ以テ概略申進置タル處九月十六日更ニ佛國軍艦ト覺シキ外國軍艦同島附近ニ投錨シ坐礁汽船ノ離礁作業ヲ爲シタル趣ヲ以テ佛國汽船ノ坐礁狀況ト共ニ左記ノ通詳細高雄州知事ヨリ通報アリタルニ付何等

臺灣總督官房外務部

御參考迄此段轉報申進ス

記

佛國汽船ノ坐礁狀況

一、寄港狀況

九月十一日午前七時フランス船アスニイ號寄港シ同船ハ長島ノ東北三〇〇米ノ地點ニアルリーフ上ニ船体ノ半分以上ヲ乗上ゲ自力ニテハ離礁ノ見込ミナキ模様ナルモ現在海面穩カニシテ人員及船体ニハ異狀ヲ認メズ

長島在住ノフランス人ハ同船寄港ト見ルヤフランス國旗ノ中央ニ錨ヲ描キタル旗ヲ立ツ

二、同船寄港ノ目的

寄港目的ニ付長島居住ノ安南人ノ交替者十七名及糧食一七、二噸ヲ輸送ノ爲ト稱シ居レルガ他ニ重大目的アルヤモ知レザルヲ以テ

タイプライター用紙

(日本標準規格 B. 4)

F-0149

0499

極力注意中
三、臨検状況

寄港當日午後一時三十分南洋興發株式會社社長島採礦所庶務主任高稿源壽ヲ迎譯トシ長島警察官吏詰所勤務天津兼守巡査ガ臨檢スル其ノ狀況及船長レカロノ言動次ノ通り

1、臨檢ヲナス旨船長ニ通知シタルニ船長ハ怪訝ナル顔ニテ一本島(長島)ハフランス領デモナク又日本領デモナイ筈ダト云ヒ乍ラ事務室ニ案内ス

2、船籍及船員ノ數寄港ノ要件等(噸數一二〇〇噸、乘組員船長レカロ (M. Se. Cella) 當六十八年外船員三十九名(内黒人一名及交替者安南人十七名)ノ間ニ對シ明確ニ答へ臨權ヲ拒ムカ如キ態度ナシ

3、同船長ノ言動
本船ハ佛領印度支那西貢ヨリ來ルモノナルガ過ツテ坐礁シ自力

臺灣總督官房外務部

ニテ離礁スル様努力シテ居ル

歐州ニ於ケル戰亂ニイタリハ未ダ參加シナイガイタリトシテハイスパニヤ一内亂ニ大分金ヲ消費シテ援助シタ爲財政逼迫シドイツノ援助ハ出來ナイデアラウ。然シ今後ノ成行ガ如何ニ進展スルカハ見當ガツカナイ何レニシテモ戰爭スルト云フ事ハ良クナイコトデアアル日本トフランスハ何處迄モ仲良クシテ戴キタイ然シロシヤハ良クナイカラロシヤ人ハ見付ケ次第殺スガ良イ云々

佛國軍艦ト覺シキ外國軍艦ノ寄島狀況

一、日時 九月十三日午後五時半

二、場所 長島東北ニ坐礁セルフランス汽船アスニ一號ニ近ツキタルモ午後六時半頃長島ヨリ約一萬米ノ地點ニ投

錨ス

タイプライタリ用紙

(日本標準規格B-4)

三、本軍艦ハ約五千噸級ノ巡洋艦型、船体白色ニテ後部ニ軍艦旗ヲ
掲揚シ佛國軍艦ノ如ク思料スルモ詳細ハ不明
四、軍艦ハ内火船ニ隻ヲ下シ「アスニイ」號ノ離礁作業ニ從事セシメ
尙附近ノ海底測量ヲ行ヒツツアリ
五、軍艦來島ニ依ル在住者民情何等異狀ナシ

了

臺灣總督官房外務部

(日本標準規格 B-4)

タイプライター用紙

F-0149

0501

發信用	執務用
主信	1 3 4
附	甲
	乙
	丙
	丁
備考	

第二局
第二課
郵海

公 信 案

新南群島ハ本年三月三日ヲ以テ帝國
 海底測量ヲ行ヒタルニ有之候
 下ニテ離礁作業ニ從事セシムト茲ニ附近ノ
 長島ヨリ約一萬米ノ地長投錨シ内火艇ニ隻ヲ
 軍艦一隻同島ニ乘航シ坐礁艇ニ近付キ後
 地長ニ在テ坐礁艇ニ係リ救助ノ爲メ十二日佛國
 海軍上陸セシメ又同艇長島ヨリ東進三百米ノ
 地長ニ在テ坐礁艇ニ係リ救助ノ爲メ十二日佛國

文書課長 盧野

文書課發送 昭和十四年九月廿八日發送

主 任 第三課長

昭 和 十 四 年 九 月 廿 八 日 附 屬

淨書 中澤

正校 (原稿) 中澤

昭 和 十 四 年 九 月 廿 二 日 起 草

受 信 人 名 件

在 佛 國 支 隊

新南群島ノ安南上陸及佛國艦艇派遣ニ係ル抗戰
 以テ新南群島ニ在リテ先官室ヨリ電報ニ係ル
 布日十日一佛國汽船左群島ニ乘航シ安南人十七名ヲ

名件録記 野村大臣

昭 和 十 四 年 九 月 廿 八 日 附 屬

28 1

文書課長 盧野

昭和三十四年九月廿八日

F-0149

0502

領事館大モシクモソノ付佛國航が帝國
 官憲ノ許可ヲクニテ安南人ヲ上陸セシムルガ
 如キハ帝國政府ノ承認ニ待ツル所ニシテ爾後
 佛國人ニ爲ル所ノ行爲ノ繰返サレトモ干渉
 佛國政府ニ在テ適當ノ措置ヲ講ゼラレントテ
 要請スルモノト旨閣下ニ通報スル光榮ヲ有シ候
 尚生礁航救助ノ爲佛國艦航ノ回群島

公 信 案

外 務 省

領海内碇泊尺ハ集組員 書達ヲ申要トスルガ
 如キ場左ニモ 右ハ佛國南緯南緯ヲ帝國軍艦ニ
 直接ノ上其承認トテ在テ行ハントモソノ付
 閣下ヲ帝國政府ノ注意ヲ喚起セシムトテ
 要請致候
 右申進者右大臣ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ
 表シ候 敬具

公 信 案

外 務 省

0503

F-0149

歐亞局

第三課長

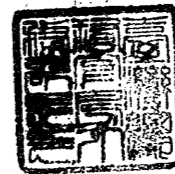
昭和十四年十月十六日

臺灣總督官房外務部長

千葉 泰



外務省歐亞局長 井上 庚二 郎 殿



外發第二〇二八號ノ二

新南群島ニ於テ坐礁セル佛國汽船及佛國軍艦ト覺シキ外國軍艦ノ同島附近投錨ニ關スル件

本件ニ關シテハ本年九月二十三日附外發第二〇二八號拙信ヲ以テ狀況申進置タル處今般其後ノ動靜ニ關シ左記ノ通通報アリタルニ付此段轉報申進ス

記

一、アスニ一號救助ノ爲メ來島セル佛國軍艦ハ九月十三日午后四時頃ヨリ内火艇三隻ヲ出シ坐礁船附近海底ノ測量ヲ爲シ翌朝九月十四

臺灣總督官房外務部

日右軍艦ハ再ピアスニ一號附近ニ來航セルモ別段救助作業ヲナス模様ナク同日午前十一時頃南方へ艦影ヲ没ス

二、九月十四日午後七時半頃西南方ヨリ發火信號ヲ爲シツツ約百噸近クノ鐵船カ同島約二千米東北方ニ投錨ス右救助船ハ約百噸近クノ船ニテ無線ヲ有シアスニ一號ノ後部ニワイヤーヲ取付ケ離礁作業ヲ爲スモ海上波高ク作業困難ニシテアスニ一號ハ前部ヲ西方ニ轉ジタル儘離礁セス

三、アスニ一號船員ハ三名ヲ殘シ前記軍艦ニテ離島ス

四、九月十七日ヨリ海上益々波高ク荒天トナリ翌十八日ハ船体稍右ニ傾斜セリ

五、九月二十六日午后四時頃約四百噸位ノ解体作業船ラシキモノ來島ス煙突一本マスト二本ノ鐵船ナリ天候險惡ニシテ坐礁船ニ接近シ得ズ駐在フランス人ノ語ル處ニ依レハ右作業船ハ主要部分ノミ取

タイプライター用紙

(日本標準規格 B-4)

九月三十日附
外發中(4)

F-0149

0504

除ク由ナルモ九月三十日迄天候險惡ニシテ接近出來ズ作業スル模
様ナシ

六十月八日正午頃坐礁船ハ爆音ヲ發シ後部船艙アタリヨリ火災ヲ起
シタリ火災ト同時ニ作業員等ハ當時干潮時ナリシタメリーフ又ハ
ボートニ逃レ消火作業ニ努ムル模様ナク午後七時頃ハ上甲板後部
ヲモ全焼シ中部ニ延焼シツツアリ

七右火災ニツキ駐在フランス人ノ言ニ依レハ船艙ニ搭載セルカーバ
イトヨリ發火セシ由ナリ避難シタル作業員及殘留船員三名等ハ消
火作業ニ努ム様トモセズリーフ上ニ貝拾ヒ等ヲ爲シ遊ビ居リタル
ヲ以テ日本人側ニ於テモ救助救援ヲ出サズ

八右アスニー號ニハ多大ノ保險契約アル由ニテ故意ノ火災ノ如クモ
思料サル

九作業船ハ約十六日間投錨シ居リタルモ天候惡クシテ作業不可能、
火災ヲ三日間監視シタルノミニシテ十月十日午后七時頃歸國セル

ガススニー號ハ十三日迄延焼中ナリ

臺灣總督官房外務部

タイプライター用紙

(日本標準規格B-4)

F-0149

0505

2
le point de vue déjà exposé dans ce document, il considère
que l'accès des îles de l'archipel des Spratly demeure en
tout état de cause librement ouvert à tout navire français
de guerre ou de commerce sans qu'il puisse être question
de notification aux Autorités Impériales, ni a fortiori,
d'autorisation préalable à délivrer par ces mêmes Autorités./.

Veillez agréer, Monsieur le Ministre, les assurances
de ma très haute considération,

Charles Arène Henry

○ ○
○ ○
○ ○
○ ○
○ ○

F-0149

0506

在野田國領候 附 2月14日
 佐州御國領候 (引揚) 同 m.m.f.
 文書課收受係

Ambassade
 de la
 République Française
 au
 Japon

Tokyo, le 14 Février 1930

N° 9

Monsieur le Ministre,

Par une lettre en date du 28 Septembre dernier, le
 prédécesseur de Votre Excellence a bien voulu m'entretenir
 des opérations de renflouement effectuées le 11 du même
 mois par un vapeur français au profit d'un navire français
 échoué dans les eaux de l'île Nagashima.

J'ai l'honneur de faire savoir à Votre Excellence que
 le Gouvernement français ayant pris possession de l'archipel
 des Spratly, dont fait partie l'île Nagashima, en Avril 1933
 et publié la notification de cette occupation au Journal
 Officiel de la République le 26 Juillet de la même année,
 estime que sa souveraineté se trouve établie sur l'Archipel
 et ne peut admettre qu'une décision du Gouvernement Japonais
 postérieure de six ans à sa prise de possession effective
 puisse porter atteinte à ses droits.

Je ne puis, à cette occasion, que prier Votre Excellence
 de se référer à la lettre adressée par moi en date du 5 Avril
 1939 à Son prédécesseur. Le Gouvernement de la République
 m'a chargé de faire savoir à Votre Excellence que, maintenant

Son Excellence
 Monsieur Hachiro Arita
 Ministre Impérial des Affaires
 Etrangères
 etc, etc, etc,
 TOKYO

昭和五年二月拾日

歐
 5.216

F-0149

0507

歐亞局長

第三課長

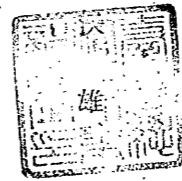
昭和十五年四月十二日 接收

B.417

昭和十五年四月十二日

臺灣總督府外務部長代理 小野田

外務省歐亞局長 井上 庚二 郎 殿



外一第三五一號

佛國汽船アスニ一號流失物處分ニ關スル件

藝ニ新南群島ニ於テ坐礁セル佛國汽船アスニ一號ノ狀況ニ關シテハ
累次貴官宛通報致置タル處最近同船ヨリノ流失物ト稱シ毛織布或ハ
麻布等ヲ同船ヨリ持來ル漁夫有リ高維稅關ニ於テハ拾得者ヨリノ届
ニ依リ一應該物件ヲ收受シ稅關倉庫ニ保管シアルモ此ノ種行為ガ續
行サル、ニ於テハ當方ニ不利ナル國際問題惹起ノ虞無シトセザルニ
付本件取扱振ニ關シ何分ノ儀御回報相成度此段照會申進ス

臺灣總督官房外務部

(日本標準規格 B4)

タイプライター用紙

F-0149

0508

寫送先

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人典 儀典 會計 會書 秘書官

大臣 次官

電信課長

(分類) 51.8.04

昭和15 一六一四五 略

臺北 六月八日後發
本省 八日夜着

歐

有田外務大臣

千葉臺灣外事部長

第一二〇號 (至急)

海防「アフリタバフ」社所屬汽船「バーンホーレン」號 (六百噸)
ハ新南群島ニ坐礁セル「アスニー」號積荷引取ノ爲ト稱シ六日同島
ニ無斷入港セリ動靜注意中ナルモ不取敢(了)

名件

汽船遭難(不取敢)

外務省

Ar (Seal)

七日附馬要參謀長發軍務局長宛電報

新南群島在勤警官ノ報告ニ依レバ同島在任佛籍人ニ對スル糧食補充並ニ
糶ニ坐礁セシアスニー號ノ搭載品運搬ノ爲佛領印度支那サイゴンアフレ
タアゼロ會社所屬船バアン・ホロレンホウベン號 (六〇〇噸) 六月六日
〇九三五同島ニ寄港セリ依ツテ直ニ同船ヲ臨檢目下其ノ行動ヲ監視中ナ
リト。

十五年之月 (花傍納)

海軍

F-0149

0509

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

電信課長



大臣

次官



東亞

歐亞

米洲

通商

條約

情報

文書

調査

人事

儀典

文書

秘書官

寫送先

昭和15 一六三五二 略

臺北 六月十日午後發
本省 十日夜着

歐

有田外務大臣

千葉臺灣外務部長

第一二三號

往電第一二〇號ニ關シ

「パンホーレン」號ハ食糧及建築材料五噸ヲ陸揚スル趣安南人大工
及佛蘭西人一名ヲ上陸セシメ九日午前十一時四〇分海防ニ向ケ出港
セリ

尙上陸安南人ハ從來滯島セル安南人ト交替セルモノニシテ佛蘭西人
ハ一箇月ノ豫定ヲ以テ同船ニテ離島セル「ジャン・ビユーロ」ト
交替セルモノナリ（了）

外務省

F-0149

05 10